

平成十二年度青森県豊かな海づくり大会

水産資源の増大と漁場環境の保全

青森県水産ビル

「水産資源の増大と漁場環境の保全」を目的に、平成十二年度青森県豊かな海づくり大会が、十一月十一日（土）青森市の青森県水産ビルにおいて、県内の各漁協や水産団体関係者約二百五十人が参加のもと、盛大に開催された。

大会では、植村正治大会実行委員会会長の挨拶に続き、来賓の木村守男県知事、秋田征則県議会議長の祝辞のあと、本県水産業で優れた実績を上げた個人・団体への青森県水産大賞表彰状が、一団体二個人に授与された。

表彰に続き、平内町立浅所小学校六年の三津谷浩子さんが「私たちの大切な海」と題して作文を発表。また、青森県漁業士会を代表して小笠原清春さんが「魚を増やすにはどうしたらよいか」、青森県漁協女性協議会を代表して細川慶子さんが「漁村の環境整備について」、それぞれ「浜の声」を発表した。

最後に、古川俊大会実行委員会副会長が

大会決議文を朗読し、満場一致で決議された。また、大会終了後、「21世紀の漁業と漁村に期待する『魚食の民に明るい未来を！』」と題して、国際学院埼玉短期大学客員教授で農学博士の鈴木たね子氏の記念講演が行われ、参加者は熱心に聞き取っていた。

青森県水産大賞受賞団体及び個人
 AMLS(アムレス)協議会(葛西恭子会長)
 須藤新一(平内町漁協)
 中西正(佐井村漁協)



植村大会会長



木村県知事



秋田県議会議長



【鈴木たね子氏プロフィール】

九州大学にて農学博士号を取得後、水産庁東海区水産研究所(現中央水産研究所)生物化学部長、日本大学短期大学部農薬科教授を歴任。現在は国際学院埼玉短期大学客員教授の傍ら政府諮問機関「海洋開発審議会」の委員として活躍中。

平成12年度青森県豊かな海づくり大会

大会決議

新鮮で安全な水産物を供給している漁村の生活環境は、生活雑廃水処理、トイレの水洗化、交通アクセス等の整備において、都市部に比較して著しく立ち遅れており、大きな課題となっている。

特に、生活雑排水の海域流入は、産卵や稚魚の育成を阻害するなど、水産資源に深刻な影響を及ぼしている状況にある。

本県の豊かな漁場の環境保全と、漁村生活者のもとより若者にとっても魅力ある住み良い生活環境を構築するために、下水道等の整備促進は極めて重要かつ緊急の課題である。

よって、平成12年度青森県豊かな海づくり大会の開催にあたり、私たち県民が一丸となって漁場環境の保全と魅力ある住み良い漁村の生活環境を構築し、次世代につなぐ豊かな海づくりに向けて邁進することをここに決議する。

平成12年11月1日

平成12年度青森県豊かな海づくり大会



青森県水産大賞受賞団体及び個人



大会風景